

## 令和 8 年度今治市自立支援協議会 相談支援部会 議事録

日時: 令和 8 年 7 月 10 日 15:30～17:00

場所: 地域活動支援センターときめき

参加者: 障がい福祉課、基幹相談支援センター

今ねっと、ときめき、ぽぴー

アゼリア、障がい者生活支援センター

### 1. 各事業所からの報告事項

#### ・相談支援専門員を対象とした交流・相談会の実施:

7 月 15 日(水)9 時～11 時半、愛らんど 2 階の多目的利用室にて、「あっとこいまばり」を開催予定。昨年度から継続している取り組みであり、時間内の入退室は自由。相談支援専門員の積極的な参加を呼びかけている。

### 2. 運営会からの報告

#### ・島嶼部における移動支援の課題

前回の相談支援部会で提起された、路線バスの減便に伴う地域課題について運営会議で検討が行われた。

バスの利用者が増加したことで、障がい者が座席に座れない、乗降場所で長時間待たされる、あるいは不審者扱いされるといった事案が報告されている。

現状の把握を深めるため、各事業所へのアンケートを実施する方向で検討中。具体的な質問項目については運営会議メンバーの宿題とし、8 月の会議で案を固める予定。

また、島嶼部における障がい種別ごとのサービス利用状況のデータ集計を、障がい福祉課に依頼している。

### 3. 地域課題の運営会議提出についての検討

#### ・市役所本庁舎の雨天時における乗降環境の改善:

本庁舎の車寄せや駐車スペースに屋根がないため、車椅子利用者が雨天時に濡れる、あるいは電動車椅子の機器が故障するリスクがあるという課題が提出された。

現状、正面玄関に屋根はあるが、車両の乗り入れや横づけにできる恒久的な屋根はない。将来的な建て替え時の要望に含めることはもちろんだが、短期的にも、既存の駐輪スパー

スの活用や、看板設置によるルールの明確化(「ここでは降車可能です」等)など、現場で可能な配慮について市へ提案を行うこととなった。

・高次脳機能障害者への支援体制と研修の充実:

高次脳機能障害を受け入れられる事業所が少ない、あるいは支援者の特性理解が不足しているという課題が共有された。

支援者が特性を正しく理解していないために、本人の症状に適切に対応できず、混乱を招くケースがある。

就労支援部会等と連携し、障害特性を理解するためのセミナーや研修会を定期的を実施するよう働きかける。

・学校から就労支援へのスムーズな移行と「就労選択支援」の周知:

県立高校等の卒業生が就労移行支援やB型事業所へ繋がる際、学校側の知識不足により引き継ぎが遅れる、あるいは適切な情報提供がなされない実態がある。

新設された「就労選択支援」制度についても、教育現場や相談支援専門員の間で理解が十分に浸透しておらず、支援の空白や特定の担当者への負担集中が懸念されている。教育委員会や各学校の校長等に対し、福祉サービスの紹介や制度説明を行う機会を設けるなど、教育と福祉の連携強化を求める。

⇒現場の実態に即した議論を促進するため、学校関係者やより多様な事業所が自立支援協議会(各部会)に参加できるよう、協議会の構成自体を見直すべきとの意見が出された。

#### 4. その他連絡事項

・地域生活拠点事業の登録更新について

令和6年度からの制度改正に伴い、拠点登録の再届け出が必要となっているが、障がい福祉課の対応が遅れているため、対象となるすべての事業所の手続きが滞っている状況。

・基準該当生活介護事業所について

対象事業所は島嶼部の社協デイサービス(宮窪、伯方、上浦、大三島、関前)、くろがねの湯(大西)、菊仙荘(菊間)、シーサイド(吉海)。登録状況の詳細については後日、障がい福祉課よりお知らせの予定。